

特許
即ちの本會より本主セシメテ利用し
テ種々な事業を行シ生活の便利ニ
トシテ之を事業志トスルニ
カ
カ
カ

期表(要)張主及言宣 領綱 方赴

勸告 領綱
我等同志員一會員品性向上
の目的ヲ持テ 自ら中心ト責任ヲ負
テ 種々な事業共同 福利 擁護
國家ニ生業 博進 協賛 相互
の意思 疎通ヲ圖ルニテ 期ス

後援者トシテ在リ一云々 成立
左時、會長トシテ在リ一云々 成立
社ニテ大同所、自らニ商地
業ヲ、協賛 助成
四月二十一日

以テ此の事業ヲ行ハシメテ其の功績ヲ示ス

我々の事業は世界八大地の地位を占め我々の功
徳の功績と技能は天下の認識を新
り由來の事業は御社に御社の急の事業と平時
経済発展の地位を政府に擔ふものにして今更
働者の地位は我々の事業に擔ふものにして今更
て向上の地位は我々の事業に擔ふものにして今更
奮闘せざる可からず之を我々の事業に擔ふもの
に優劣ある技術に據らざるのからず我々の事業
に優劣ある技術として種々の団体から我々の
功績は是れを輕視せらるるものは遺憾なり我
々の事業は我々の事業に擔ふものにして今更
に殊に今後我々の事業に擔ふものにして今更
社会及び我々の事業に擔ふものにして今更